

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年2月6日

事業所名 しあわせ駅 読谷

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			園庭もあり、広々としている。	
	2	職員の配置数は適切である	8			配置基準を満たしており、児童指導員も多い。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8			建築時より完全バリアフリーとなっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			随時ミーティングを開催している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			保護者の意見を取り入れ、さらなる業務改善に努めていきたい。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			毎年ホームページで公開し、その旨を保護者へ周知している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	7		保育所等訪問や相談員等の関係者の見学や意見を取り入れている。	今後、導入を検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			本社にて研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			全職員で会議を行い、作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			標準化されたアセスメントツールを使用しているが、今後も随時見直しを図っていきたい。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			会議を行い、職員の意見をふまえ立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			季節や行事に沿った活動を考え、児童が楽しめるように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			児童の状態や課題に応じて、計画設定した支援を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			会議を行い職員の意見を取り入れ、児童の状況に応じて個別と集団活動を適宜組み合わせ作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			毎日、朝礼・昼礼を行い、役割と今日の流れを確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			児童の活動記録を記入しつつ支援内容の振り返りを行い、日頃から情報共有を心掛けている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			必ず記録をとって共有し、職員間で共通理解を図っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			定期的にモニタリングを行い、見直し判断・検討している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8			ガイドラインに沿って児童にあわせた支援を行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8			事前に職員会議を行 い、児発管が会議に出 席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	8			送迎時やモニタリング 等で学校と情報共有し 連携を図っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	1	7			対象児がいらない為行っていないが、 今後必要に応じて対応していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	8			関連機関と、情報共有 と相互理解に努めてい る。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	8			関連機関と、情報共有 と相互理解に努めてい る。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4	4			研修等の機会があれば、参加してい きたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	6	2		地域の公園や公民館 へ足をはこぶことがあ る。	今後さらに体制を整え、交流の機会 を計画していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	7			機会がなく参加できていないが、今後は 積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	8			送迎時やライン等で児童 の状況や様子を情報共 有し、共通理解・連携を はかっている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	6	2		状況に応じ送迎時等に、 意見のおしつけにならないレ ベルでデイの考えをお話し ている。	「ペアトレーニング」に限定すると実施で きていないが、今後実施できるように検 討していく。	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8			契約時に必ず書面・口頭 で説明を行い、その後も 必要に応じて追加説明を している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	8			随時対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	8			定期的に児童保護者 交流会を開催してい る。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	8			意見や相談があった 場合には、迅速かつ適 切に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	8			毎月おたよりの発行と配 布を行い、ラインやインス タグラムを活用し情報発 信を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	8			シュレッターで書類の廃棄 を行い、保存書類は窓から 見えないよう、保護シートや 施錠での管理を行って いる。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8			ラインを活用し、文字だ けでなく写真や動画でわ かりやすく情報伝達して	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		8			今後、導入を検討中。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			マニュアルを全職員に周知し、定期的に訓練を実施している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			定期的に訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			本社にて研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2		対象児童はいないが、身体拘束に関する注意事項をマニュアル化している。今後、必要に応じて対応していく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		医師の指示書ではなく、保護者の指示で対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			事例集を常設し、いつでも閲覧できるようにしている。	